|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期 | | Ⅰ | | | Ⅱ | | | Ⅲ | | | Ⅳ | | | | Ⅴ | | |
| 月 | | 4月 | 5月 | 6月 | | 7月 | 8月 | | 9月 | 10月 | | 11月 | 12月 | 1月 | | 2月 | 3月 |
| 幼児の姿 | | ○初めての園生活に不安になる子もいるが、教師と一対一のかかわりで安心して遊びだす子もいる。  ○言葉を交わしたり物のやり取りをしたりするなど、ちょっとしたきっかけから、友達に親しみをもち遊ぶようになる。  ○気に入った遊具や場所を見つけ遊ぶ姿が見られる。  ○教師と一緒に身の回りの始末や手洗い、排せつをすることで、園生活の流れを感じている。 | | | 〇園生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。  〇自分の気持ちが出始め、「～がしたい」と思うようになり、自分からやろうとする。  ○気の合う友達と遊びを楽しむ反面、自分の気持ちを伝えられずトラブルになることがある。  ※活動や遊びを「10の姿」と照らし合わせて、自園の保育に不足していた視点も補いながら計画  を練る。「10の姿」を自園のどの活動で確認するかは、園の状況や特徴に合わせて考える。 | | | ○夏休み明けは喜んで登園する子もいるが、泣いて登園する子もいる。  ○一緒に遊んでる友達に、自分の思いや考えを伝えながら、遊ぶ姿が見られる。  ○遊びが活発になり、色々な事に挑戦し、色々な運動遊びに取り組もうとする。  ○園行事や地域行事を通して遊びが広がる姿が見られる。 | | | ○一緒に遊んでいる友達と、互いに思いや考えを言葉で伝えながら、遊びを進めようとする。  ○戸外に出て、友達と簡単なルールのある遊びを楽しんでいる。  ○年長児のやっていることを関心を持って見ている。その後同じようなことをやっている。 | | | | ○自分たちで遊びを進めていく中で、一人一人が役割をもって活動することを楽しんでいる。  ○友達や年長児と一緒に遊ぶ中で進級への期待を持っている。  ○今までできなかったことができるようになり、自信を持つようになると同時に、年長児になるという自覚を持つようになる。 | | |
| 知識・技能の基礎  思考力・判断力・表現力等の基礎  学びに向かう力・人間性等 | ◎ねらい　　　・内容 | ○先生や友達に親しみを持ち、喜んで登園する。  ・先生や友達と触れ合い、親しみを感じる。  ○好きな遊びを見つけ、先生や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。  ・自分の好きなことを見つけたり、保育園からの友達や新しい友達と関わって遊ぶ。  ・園の小動物や自然環境に触れる。  ○生活の仕方や流れを知り、自分でできることはしようとする。  ・安全な登降園の仕方が分かる。  ・先生や友達と一緒に楽しく食事をする。 | | | ○好きな遊びを見つけ、先生や友達に自分の思いを出しながら遊ぶ。  ・好きな遊びをする中で、自分の思いをだそうとする。  ・水を全身に浴び、開放感を味わいながら、先生や友達と水遊びを楽しむ。  ○身近な動植物や自然事象等に興味関心をもつ。  ・季節の虫や身近な動植物に触れ、見たり世話したりする。  ○生活に必要な習慣や態度を身につける。  ・夏の生活習慣を身につけ、自分でしようとする。 | | | ○友達と思い切り体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。  ・簡単なルールや決まりを守りながら、友達と一緒に遊ぶ。  ○自分を出しながら友達と好きな遊びを楽しむ  ・一緒に遊んでいる友達に自分の思いや考えを出しながら遊ぶ。  ・遊びのイメージに合わせて身近な素材や道具を使って遊ぶ。  ・身近な人や自然、地域文化などに触れ楽しむ。 | | | ○友達と一緒にイメージを出し合って遊ぶ楽しさを味わう。  ・自分の思ったことを伝えたり、友達の思いを聞いたりする。  ・遊びに必要なものを考えて作ったり、遊びの場を構成したりしながら、友達と共通なイメージで遊ぶ。  ・年長組の遊びに興味関心をもち、自分でもやってみようとする。  ○戸外で十分に体を動かして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。  ・友達と簡単なルールのある遊びをする。  ・先生や友達と相談しながら遊びを進めて楽しむ。 | | | | ○自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしなが  　ら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。  ・気の合う友達とイメージや目的を共有し、実現しよう  　とする。  ・自分の思いや考えを言葉で伝え、受け止めてもらえる  　うれしさを味わう。  ・みんなで一つの事に取り組む中で、自分の力を発揮して遊ぶ。  ○年長組への期待感をもって自分たちで遊びや生活を進  　めていく。  ・年長児との関わりを通して、進級を楽しみに待つ。 | | |
| ◎ 援助　　□ 環境構成 | | ◎入園した喜びや新しい環境の不安など一人一人の思いを受け止め、安心して過ごせるようにする。  ◎みんなで集まって絵本を見たり手遊びやリズム遊びをしたりしながら、一緒に楽しめるようにする。  □室内の環境は、親しみが持てる遊具や人形などを置き、温かく家庭的な雰囲気づくりをする。  □遊具や場所は分かりやすく表示し、安心して過ごせるようにする。 | | | ◎好きな遊びを満足するまで楽しむことが出来る場や時間を確保する。  ◎身の回りのことを自分なりにやろうとする姿を受け止め、励ましたり、時には見守ったりしながら、必要に応じて援助していく。  ◎友達同士のトラブルでは、それぞれの思いを丁寧に受け止め、時には思いを代弁したり、仲裁したりすることで、相手にも思いがあることを気付かせて友達との遊びを楽しめるように援助する。  ◎砂場遊びや水遊びでは衛生面や安全面に留意し子ども達が十分に夏の遊びを楽しめるようにする。  □園庭の草花や小動物等に興味を持って触れたり、見たり出来るようにする。 | | | ◎夏休み明けは、安心して過ごせるように慣れ親しんだ遊びができるようにする。  ◎体を動かす心地よさが感じられるように、教師も積極的に戸外で一緒に遊ぶ。  ◎いろいろな素材を見立てて、自分のイメージを表現して作ることを楽しんでいる姿を十分に認めていく。  □イメージを表現したり、遊びに必要な物を作ったりできるよう、素材や用具を準備しておく。 | | | ◎子どもたちのイメージが広がるような言葉かけをすることで、遊びが変化したり面白くなったりすることが感じられるようにする。  ◎友達同士のトラブルでは、互いの気持ちを教師が受け止め、伝え合いながら相手の気持ちに気付かせていく。  □一人一人の子どもの思いやイメージが実現できるように場を設定したり、イメージに適した素材や用具等を遊びの流れに応じて提示していく。  □友達と協力し、一緒に活動する楽しさが味わえるよう交流の場を作る。 | | | | ◎同じ目的や興味をもつ友達に考えが伝わるように援助し、自分たちで遊びが展開できるようにする。  ◎様々な場面で一人一人の良さや取り組みを認め、他の子に伝えることでクラスの中で一人一人が自信を持てるようにする。  ◎いろいろな遊びの中で、できるようになったことを認め、自分なりの目標に向けて、繰り返し取り組もうとする意欲を高めていく。  ◎年長組の部屋を見に行くなどし、新しい生活への見通しをもったり、楽しみにしたりできるようにする。  □自分たちで遊びが進められるように素材の置き方を工夫したり、場と時間を確保したりする。 | | |
| 園行事 | | 三学期始業式、新入園児保護者説明会、生活発表会、  避難訓練（火災）お別れ遠足、収穫祭（カレー会）、  ひな祭り、学級集会、親子作業、ＰＴＡ総会、  年中・年長修了式  新入園児受付及び面接、避難訓練（地震・津波）、秋の遠足、保育参加・講演会、個人面談、  二学期終業式、冬休み  二学期始業式、祖父母参加、  避難訓練（不審者）、ＰＴＡ作業、運動会、いもほり体験  ボランティアによる絵本の読み聞かせ開始、  絵本の貸し出し開始、プール遊び、避難訓練（火災）、個人面談、保育参加、一学期終業式、夏休み  入園式、進級式、家庭訪問、春の遠足 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連携・交流 | | ・幼小職員交流・おもちゃ祭り（2年生）  ・5年生体験給食交流・1年生お招き会  小学校学習発表会見学、秋と遊ぼう（1年生）  5年生とのプール遊び、夏の遊びを楽しもう（保幼小）  保幼小連携委員会、1年生連絡会  幼保交流、幼小合同運動会 | | | | | | | | | | | | | | | |

教育課程に沿って園生活を長期的に見通しながら、環境構成や援助

などの指導の内容や方法を具体的に示す。

**年間指導計画　【４歳児】**

事例５